

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価

第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標(事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援・介護予防・重度化防止	<p>○平成17年度以降、総人口が減少しているが高齢者人口は増加。数年後には高齢化率が30%を超えると予想される。</p> <p>○生活習慣病による受診率が65歳以降増加。介護や介助が必要になった主な原因は、心臓病・高齢による衰弱・認知症の割合が高くなっている。生活習慣病予防対策とともに、身体機能の維持・向上や介護予防、重症化予防が重要である。</p> <p>○高齢者が高齢者同士で支えあう場づくり、身体機能の維持向上が図れる場づくりの提供と拡大及びそこに参加する高齢者の増加が課題である。</p>	<p>住民主体の通いの場を充実させ、人と人との繋がりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりの推進</p>	<p><指標> 1、2025年度までに通いの場への参加者数が高齢者人口の1割(指標:2,600人) ※2025年の高齢者人口推計 26,539人</p> <p>2、2025年度までに住民主体の通いの場が人口1万人に対して10か所(指標:80か所) ※2025年の人口推計 81,562人</p> <p>・介護予防に取り組むきっかけづくり(ロコトレ講座、介護予防教室)を行う。 ○ロコトレ講座 H29実績 開催回数300回、参加人数10,044人 ○介護予防教室 H29実績 開催回数80回、参加人数1,044人</p>	<p>○ロコトレ講座 H30実績 開催回数280回、参加人数9,231人</p> <p>○介護予防教室 H30実績 開催回数22回、参加人数288人 ※H29と計上の仕方を変更したため、実績が減少(昨年度の事業実施対象は計上しないこととした)</p>	○	<p>・ロコトレ講座は毎回人気が高く、定員を超える申込者がある。しかし、申込者の中には継続者が多いため、新規者の拡大が課題である。 ・参加者拡大(特に新規者)のため、各地域での開催が目標である(ふれあいセンター10か所での新規開催を検討)。 ・ロコトレ講座後、参加者主体で通いの場やサロンを立ち上げ、継続的に介護予防に取り組んでもらいたい。</p>
			<p>・住民主体の通いの場の立ち上げ、継続支援を実施 ○通いの場 H29実績 登録団体数10か所 ○通いの場代表者交流会 H30より開催予定 ○歯科衛生士派遣(わっはっは教室の開催:オーラルフレイル予防) H30より事業開始</p>	<p>○通いの場 H30実績 登録団体数11か所 ○通いの場代表者交流会 H30実績 開催回数1回、参加者数27人 ○歯科衛生士派遣 H30実績:1回</p>	△	<p>・通いの場の登録者数がなかなか増えない。把握できていない通いの場が存在する可能性もあるため、民生委員等から情報収集を行う。また、ロコトレ講座後の自主活動を支援するために次のように対応する。 対応策 ①講師なしでロコトレ体操ができるように支援(岐阜県理学療法士会と協働でロコトレ体操のDVDを作成済み) ②正しいロコトレ体操を継続するための支援(定期的に理学療法士や健康運動指導士等を派遣、介護予防実践リーダーを養成・派遣) ③活動を継続できるように支援(通いの場代表者の交流会を継続) ・H30.10月から歯科衛生士派遣を開始した。事業の周知が十分にできておらず、実績は1回のみであった。次年度は社会福祉協議会や地域包括支援センター等を通して幅広く周知を行いたい。</p>
②給付適正化	<p>○要介護認定における認定調査の件数が多く、市の職員だけでなく、民間事業者にも委託しているため、調査内容のチェックが必要である。</p> <p>○ケアプランについて、保険者からの視点による確認・指導が必要である。</p> <p>○国保連からの一覧表を元に、縦覧点検、医療情報との突合をし、内容について疑義がある場合は国保連に対し、過誤調整、申し立て等を行っている。</p> <p>○利用者に対し、介護給付通知を送付し、利用内容について確認してもらっている。</p>	<p>ケアプラン点検の定期的な実施</p>	<p>ケアプラン点検の開催 H29 H30(目標値) R1(目標値) R2(目標値) 19回 55回 55回 55回</p>	<p>ケアプランを抽出して点検する。 ケアプラン点検回数: 平成30年度 54回</p>	◎	<p>予定通り実施できた。今後は、抽出の方法をどうするか、検討していく必要がある。</p>

※自己評価
◎:達成できた、または数値目標があるものは達成率が80%以上
○:概ね達成できた、または数値目標があるものは達成率が60~79%以上
△:達成はやや不十分、または数値目標があるものは達成率が30~59%以上
×:全く達成出来なかった、または数値目標があるものは達成率が29%以下